

中能登町高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画 (※高齢者支援センター関連を抜粋)				現状と課題 ■アンケート調査結果より	目指すべきところ	【P】令和6年度事業計画 (★:重点事業)
基本理念	基本目標	主要施策	主な取り組み			
住み慣れた地域で いつまでも 安心して暮らせるまちづくり	1 健康づくり・介護予防の総合的な推進	介護予防の推進	介護予防対象者の把握と支援	・うつリスク44.3%・転倒リスク38%(前回調査より増) ・「半年前より固いものが食べにくい」43.9% ・外出を控えている理由「コロナ」68.7%「足腰等の痛み」39.6% ・グループ活動への企画・運営としての参加意向「参加したくない」54.8% ・「趣味あり」57.2%(前回調査より減) ・「生きがいあり」45.3% ・「介護予防の取組あり」48.7% ・「介護予防の取組」1位ウォーキング、2位体操など	健康寿命を延ばす 寝たきりにならない 高齢者が長く社会で活躍できる	1 お達者ですか訪問事業
			介護予防普及啓発			2 介護予防講座(出前講座)
			地域介護予防活動支援			3 ★高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施(フレイル予防教室)
			介護予防・生活支援サービスの充実			4 「地域つながりサロン」(34か所)の活動支援
			リハビリテーションサービスの提供体制の充実			5 「シルバーリハビリ体操3級指導士」の活動支援
	2 日常生活を支援する体制の充実	生活支援サービスの充実	高齢者支援センターにおける相談窓口の充実	・「家族や知人以外の相談相手がない」38.3% ・「会・グループ(ボランティア・老人クラブ、町内会など)に参加している」1~2割 ・「今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援サービス」1位外出同行 2位移送サービス	地域の中で、日常生活に必要な社会資源や助け合いの仕組みがある ※「互助」地域の支えあい、「お互いさま」の意識形成	16 総合相談支援/相談窓口の周知と相談しやすい環境づくり
			地域ケア会議の充実			17 地域ケア会議(高齢者の自立に支援に資するケースワーク、地域課題の把握)
			生活支援コーディネーターの活動推進			18 ★地域ケア推進会議の開催(地域課題からの施策化)
			地域の社会資源の見える化			19 生活支援コーディネーターによる生活支援ニーズ把握と資源の見える化
			生活支援に関する協議体の設置・運営			20 ★地域福祉推進チームによる福祉見守りマップの作成支援 ※災害時対応
	生活支援担い手の確保	21 社会福祉協議会HP「高齢者お役立ち情報」「なかのと結びネット」の充実				
	3 地域における支え合い活動の推進	権利擁護の推進	家族介護者への支援の充実	・「心配事や愚痴を聞いてくれる人」1位配偶者54.8% 2位友人 誰もいない4.9% ・「看病や世話をしてくれる人」1位配偶者58.5% 2位同居の子ども 誰もいない8%	地域共生社会の実現を、公民が一体となり考え、誰でも「丸ごと」支えあう仕組みがある	22 「まるごと福祉支援協議会」等による生活支援サービス体制整備の協議
			地域見守り支援体制の充実			23 ★有償ボランティア「なかのと結び隊」の本格実施
			見守り活動への支援			24 家族介護者教室・交流会(心身のリフレッシュ、介護の知識や技術の習得)
			高齢者虐待防止の取り組み・対応			25 ★認知症地域支援推進員との連携による開催
			成年後見制度等の活用のための支援			26 地区組織や地域福祉推進チームの活動支援
	4 在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携推進のための環境整備	地域見守り支援体制の充実	・「心配事や愚痴を聞いてくれる人」1位配偶者54.8% 2位友人 誰もいない4.9% ・「看病や世話をしてくれる人」1位配偶者58.5% 2位同居の子ども 誰もいない8%	医療や介護が必要な状態となっても、自らが望む場所で最後まで、本人や家族が心身共に安心して過ごすことができる。	27 民生委員児童委員との連携と見守り活動への支援
			在宅医療・介護に関する情報提供			28 相談窓口の周知、早期発見・早期対応
			在宅医療・介護についての普及啓発			29 「まるごと福祉支援協議会」を中心とした虐待防止の取り組み
			課題の抽出と対応策の検討			30 ★中核機関の適切な運営
			医療・介護関係者の情報共有			31 ★相談体制の充実、セミナー開催
	5 認知症施策の推進	認知症の人と家族を支える地域づくり	在宅医療・介護に関する情報提供	・「認知症機能低下リスク」48.6% ・「物忘れが多いと感じる人」48.6% ・「認知症に関する相談窓口を知らない」59.2% ・「抱えている傷病が認知症」26.2% ・「介護者が不安に感じる介護」認知症状への対応34.5%	認知症を予防し、また、認知症になっても地域で安心して暮らすことができる。	32 「中能登町医療・介護資源マップ」の活用
			在宅医療・介護についての普及啓発			33 訪問看護ステーションによる在宅医療・介護連携に関する相談窓口
			課題の抽出と対応策の検討			34 広報やパンフレット、住民向け講演会、出前講座等による普及啓発
			医療・介護関係者の情報共有			35 在宅医療・介護連携推進協議会・コアメンバー会議の開催
連携の情報共有ツールの活用			36 あじさい会(中能登町在宅医療介護連携を考える会)による多職種研修会			
7 介護保険サービスの安定的な提供	介護サービスの質の向上	認知症に対する正しい理解の推進	・「認知症機能低下リスク」48.6% ・「物忘れが多いと感じる人」48.6% ・「認知症に関する相談窓口を知らない」59.2% ・「抱えている傷病が認知症」26.2% ・「介護者が不安に感じる介護」認知症状への対応34.5%	認知症を予防し、また、認知症になっても地域で安心して暮らすことができる。	37 「緊急ファイル」の活用促進(民生委員と消防署との連携)	
		認知症予防			38 ★「入退院時連携ルール」の見直し	
		認知症相談・支援体制の充実			39 (新)災害時の在宅医療・介護連携のあり方について検討	
		認知症地域支援推進員活動の充実			40 ★認知症サポーター養成講座(地域、職域、学校)の開催	
		認知症の人や家族の居場所づくり			41 認知症キャラバンメイト連絡会の開催	
7 介護保険サービスの安定的な提供	介護サービスの質の向上	認知症の人や家族を支える地域づくり	・「認知症機能低下リスク」48.6% ・「物忘れが多いと感じる人」48.6% ・「認知症に関する相談窓口を知らない」59.2% ・「抱えている傷病が認知症」26.2% ・「介護者が不安に感じる介護」認知症状への対応34.5%	認知症を予防し、また、認知症になっても地域で安心して暮らすことができる。	42 認知症の正しい理解の普及啓発(広報、ケーブルテレビ等)	
		見守りネットワークの充実			43 出前講座の開催(No.10同様)	
		認知症サポーターの活動支援			44 相談窓口の周知	
		情報交換や事例検討会による関係者の自己研鑽や協働			45 ★「認知症ケアパス」の普及、活用	
					46 (新)認知症初期集中支援チームによる支援の実施	
	47 認知症地域支援推進員活動の充実(相談支援、認知症カフェ運営支援等)					
	48 認知症カフェ(若年性認知症家族の会「青空」含む)の設置・運営					
	49 ★高齢者等安心ネットワークの周知及び協力機関の拡充					
	50 認知症サポーターステップアップ講座の開催					
	51 (新)認知症サポーターの活動の場の創出(チームオレンジ)に向けて					
	52 介護保険サービス事業所連絡会 ※災害時対応及び防災支援の検討					
	53 居宅介護支援事業所連絡会・個別ケアマネ支援					